

## 6. ビジネススクール運営スキーム (事業の方向性と結論)

### 6-1 運営の特徴

- フォローアップ重視(やりっぱなしにしない。細かな要望に応える)  
成果に手ごたえを感じさせる仕組み
- 適正料金(安かろう悪かろうにはしない)と質の追求
- 派遣企業の組織化

### 6-2 基本原則

身の丈にあった教育研修

- 無理に背伸びしない
- 赤字事業としない
- 実現可能なところから実施する

### 6-3 本格稼動時期

平成23年10月

### 6-4 年間カリキュラム

- 研修ニーズをもとに、講座の分野とレベル、担当講師等具体的な課題を一つずつ解決しながら、それらを総合した年間カリキュラムを策定する。
- 比較的教育ニーズの大きい分野を中心に採算参加者数、講師料、収支バランスなど総合的かつ慎重に検討し価格設定を行う。
- 当初は、階層別教育を中心に可能な分野から実施する。

### 6-5 受講料

- 受講料は受益者負担を原則とする
- 組合員企業が従業員を参加させやすい料金設定を目指す
- 個人参加も考慮する
- 組合員、員外の料金設定
- 補助金はあてにしない
- 採算人数の目安を10~20名程度とする

### 6-6 講座定員

- 基本は10~20名程度
- 講座内容や会場により定員の上限を設定する

## 6-7 開催会場

- はまなす会館、問屋町会館、その他

## 6-8 開催時間

- 平日夜間や週末(土曜日等)、業務への影響を最小限にできる時間帯
- 講座毎に検討

## 6-9 講義時間

- 平日夜間と週末(主として土曜日)1日開催の使い分け
- 平日夜間コースは40分を基本時間とする
- 週末1日コースは50～60分を基本時間とする
- 最初の10～15分を前回の復習時間とするなど、社会人対象の配慮が必要である

## 6-10 参加者の募集体制

- 講座内容の充実、企画力の向上
- 多チャンネルでの情報発信  
コストからいけば郵送が最も高く、ホームページが最も低い。コストを意識しながら、さまざまな媒体を活用する
- 主要企業からなる運営組織を組織化(=サポーターズ組織)
- 基本はホームページ  
受身、待ちの姿勢である。これを補完するのがメール。
- メール
- 印刷物を郵送(最も高コストで効果も限定的)
- 広報あおもり
- ラジオ RAB16時は問屋町アワー

とくに、運営組織を強化する必要があることから、今回の小委員会(ワーキング)に主要企業代表を加えた組織化を図り、来年度以降継続して運営することも検討に値しよう。

また、派遣決定権者に対する働きかけをして、例えば中堅社員研修のテキスト内容へのチェックだけでなく、トライアル参加という形でオブザーバー参加してもらうことなども検討に値しよう。

## 6-11 受講者管理

受講履歴管理をフォローアップ研修や次のステップの研修の受講につなげていくような活用が求められている。事業主体である青森総合卸センター、派遣元である組合員企業、参加者本人の三者が共有する仕組みが求められる。

なお、参加者を企業派遣とするのか個人参加とするのかという論点については、階層別教育については企業派遣のみ、それ以外の単発研修については個人参加に道を開くべきであろう。

## 6-12 将来方向

- 参加者OBが同期で集まり、議論し自主的に研鑽を深めるような溜まり場(サロン)のような場があれば・・・。
- 合宿方式で研修可能な施設があれば・・・。  
たとえ短い期間であっても寝食をともにすることでインフォーマルな意識が形成される。こうした研修効果を考えると、将来方向として合宿研修が可能な施設も考える必要があろう。

図11:中堅社員研修の需要予測試算

企業規模	企業数	年間派遣予測 (1社あたり)	年間派遣予測 (合計)
中堅クラス	5~8社	3~5名	15~40名
中規模	2社	2~3名	4~6名
小規模	3社	1~2名	3~6名
			22名~52名

初年度は20名強と見込まれることから年間2回開催し、実績を重ねながら回数を増やしていく方法がベターと考えられる。

図12:初年度からの想定カリキュラム

	初年度	二年次以降(実績を重ねながら)
階層別 研 修	トップマネジメント朝食会 → 継続  中堅社員研修(年2回) [含、フォローアップ研修] (営業社員基礎研修)	継続 上級管理者研修 監督者研修 管理者研修  中堅社員研修(年間開催回数の増加)  営業社員基礎研修 営業社員中級研修 営業社員上級研修
	新入社員研修 → 継続 [含、フォローアップ研修]	継続
個 別 テ ー マ	コミュニケーション研修 → 継続	継続
	リテールサポート研修 → 継続	継続  メンタルヘルス研修  キャッシュフロー研修  簿記2級・3級 資格取得研修
オーダー メイド	個別企業のニーズに合わせて開催 → 継続	継続